世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
Musashino University
武蔵野大学 学術機関リポジトリ
Musashino University Academic Institutional Repository

A Study of Japanese "kudasai" and Korean "juseyo"

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 具, 軟和 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/536

日本語の「ください」と韓国語の「주세요（juseyo）」についての一考察

―補助動詞としての意味用法を中心に―

具　軟和

1.　はじめに

日本語と韓国語は、同じ膠着語であり、基本語順も同じである。また、古い日本語において語頭に流音が立たない点は、韓国語の場合も同じであり、音韻的な共通点もある。

しかしその一方で、異なるところも少なくない。例えば、日本語の否定文は文の後ろで否定表現を作るが、韓国語は日本語と同じ否定表現も可能であり、英語のように用言の前に否定の前置詞をおくような形式をとることが可能である。

本研究は、依頼表現である日本語の「ください」と韓国語の「주세요（juseyo）」の類似したところと異なるところを調べ、両表現の特徴と用法の違いを先行研究を踏まえながら、考えてみることにする。

2.　日本語の「ください」の意味

「ください」は、動詞「下さる」の命令形であり、相手に何か事物を請い求める意を表す。いただきたい。ちょうだいしたい。「小遣いを－」「お電話を－」「これ－」それから補助動詞として動詞の連用形に「お」の付いた形、動作性の漢語に「ご（御）」の付いた形、動詞の連用形に「て（で）」の付いた形などについて、相手に何らかの動作をすることを請い求める意を表す。「どうぞお読み－」「ぜひご検討－」「名前を書いて－」など。 または、「…（さ）せてください」の形で自分の行動について相手の許しを求める意を表す。「私にもひとこと言わせて－」「それは私に担当させて－」など。（以上、大辞林辞書第三版の解説を引用）

なお、現在は漢字とひらがな書きにすることによって使い分けされている傾向が見られる。例えば、

1）コーヒーを下さい。
2）座ってください。

上の１）の「下さい」は動詞「くれ」の尊敬・丁寧表現を表す場合に使われ、英語での give の意味を持つ。２）の「ください」は、補助動詞として用いられ、聞き手に対しお願いする時や言動を要求する表現として使われ、それの尊敬・丁寧表現になる。これは英語の pleases の意味になる。

3. 韓国語の「주세요（juseyo）」の意味

「주세요（juseyo）」は、あげる、くれるの両方の意味を持つ韓国語「주다（juda）」の丁寧語である。「주다（juda）」は（目下の人に）やる、（相手に）あげる、（相手が）くれるという意味であり、物の移動は主語で判断される。また、日本語の「ください」と同様に「～をください」という物の移動のみの意を表す。そして、日本語のくださいが「って、いて、んで」と接続して補助動詞の機能を持つことと同じく、韓国語の「아（a）、어（o）、해（he）」と接続して「～てください」、「させてください」のような用法を持つ。以下の例をみよう。

1）커피를 주세요（コーヒーを下さい）
2）앉아 주세요　（座ってください）
3）저도 가게 해 주세요（私も行かせてください）

上の1）の주세요はコーヒーという物を要求する意味として使われ、2）の点線の－아주세요は日本語のてくださいと同じく補助動詞として使われ、相手に言動の要求を表す。3）は使役の意味を持つ語尾「게（ge）」の後ろに付き、許可を求める意味を表す。

本稿では、give の意味を持つ「下さい」と韓国語の「주세요（juseyo）」はその意味用法がほぼ一致しているため比較の対象から外し、補助動詞として使われる場合の「～てください」と「아 / 어 / 해　주세요（juseyo）」（以下「－주세요（juseyo）」と表記）の違いに注目する。

4. 日本語「～てください」の用法

姫野（1997）は、「～てください」が持つ「命令・依頼・勧め」の意味関係を二つの観点から明快にまとめている。一つは、行為の受益者が話し手なのか、聞き手なのかに着目して競合型（受益者が話し手）、懇親型（受益者が聞き手）と分ける。もう一つは、命令に対する行為の実現の決定権を誰が持つのかによってさらに二つの指示表現と、依頼、勧めに分類している。そして、これらの発話を行為指示型発話行為として定義付けている[1)]。その内容は表1の通りである。

表1　姫野（1997）行為指示型発話行為の分類

	決定権者	
	話し手	聞き手
競合型（受益者＝話し手）	命令的指示	依頼
懇親型（受益者＝聞き手）	恩恵的指示	勧め

上の各発話行為の例を挙げてみよう[2)]。

1）命令的指示
　次の信号を右に曲がってください。（乗客がタクシーの運転手さんに）
2）恩恵的指示
　今から2時間ぐらいは飲食を控えてください。（歯医者が患者に）
3）依頼
　すみません、ちょっと道を開けてください。（通行人が他の通行人に）
4）勧め
　どうぞ夕食を召し上がっていってください。（家の主人が客に）

依頼表現「～てください」については他にも森田（1985）前田（1990）柏崎（1993）を含め、最近の研究として代表的なものは由木（2001）（2003）などがあり、多くの先行研究がなされている。

本稿では上の姫野（1997）の分類に従い、「～てください」の用法を命令的指示、恩恵的指示、依頼、勧めこの4つの枠組みに合わせて韓国語の「－주세요（juseyo）」と比較する。

5.　韓国語「－주세요（juseyo）」の用法

まず、姫野（1997）の発話指示型発話行為の分類に従い、4．の1）から4）の文を韓国語に訳してみると、若干の違いが表れる。

1)' 命令的指示
다음 신호를 오른쪽으로 돌아주세요.
(다음 신호를 오른쪽으로 돌아주세요)

2)' 恩恵的指示
지금부터 2시간 정도는 음식을 삼가하세요.
(지금부터 2시간 정도는 음식을 삼가하세요)

3)' 依頼
미안합니다, 길 좀 비켜주세요.
(미안합니다, 길 좀 비켜주세요)

4)' 勧め
저 녁 식사를 드시고 가세요.
(저 녁 식사를 드시고 가세요)

1)' と3)' は日本語と同じく語尾に「－주세요（juseyo）」を用いるが、2)' と4)' は「－세요（seyo）」が用いられる。この場合「－주세요（juseyo）」が接続するとやや座りが悪く、文の内容や場面によっては非文になってしまうこともあり得る[3)]。すなわち、受益者が話し手になる命令的指示、依頼の場合は「－주세요（juseyo）」が、聞き手が受益者になる恩恵的指示、勧めの場合は「－세요（seyo）」が使われるのがより座りが良い文章になる。

韓国語の「－주세요（juseyo）」は明らかに利益が発話者側に発生するのが一般的であり、

日本語と違って綺麗に競合型と懇親型に分かれると判断される[4)]。だが、発話によって起こる利益は、必ずしも発話者なのか聞き手なのか明確に判別できず、両者にある場合もある。例えば、「舛添都知事、せめてリオ五輪は欠席してください」（調査データの一例）という文があるが、この場合、欠席することによって起こる利益はどちらとも考えられる。このような表現の場合は韓国語も同様である。聞き手に対する丁寧な依頼表現でありながら、自分の利益にも繋がるような発話は、韓国語も両方の意味に訳すことができる。

日本語の「～てください」の形式が韓国語の場合は上のように二つの形式に分かれるため、日本人の韓国語学習者が「－주세요（juseyo）」の用法を誤ってしまう誤用が起こる。実際、以下のような例が多く見られる。

①？감기 얼른 나아 주세요.（風邪早く治ってください）
②？다음에도 가르치세요.（次回も教えてください）

①は聞き手の受益を表すため、「－세요（seyo）」を使うべきだが、「－주세요（juseyo）」が使われ、私のために元気でいてくださいのようなニュアンスの表現になってしまい、座りが悪い文になる。それから、②は話し手の受益を表すのに「－세요（seyo）」が使われているため、“お教えになってください”のような使い方になってしまい、丁寧形にも関わらず、依頼文ではなく一方的な命令形の文になっている。では、ここで「－세요（seyo）」の用法をみよう。

5.1. 韓国語「－세요（seyo）」の用法

「－세요（seyo）」は、動詞、形容詞の語尾に接続し、その文の主語を高めながら事柄を述べたり、丁寧な命令、要請表現を表す[5)]。

1）손님, 뭘 찾으세요？（お客様、何をお探しですか。）
2）서두르시면 지하철을 타세요.（お急ぎなら、地下鉄にお乗りください。）
3）그 분은 선생님이세요.（あの方は先生でいらっしゃいます。）

1）は動詞「찾다」の後ろに「－세요（seyo）」が接続し、疑問形[6)]の尊敬表現を、2）は動詞「타다」に接続して勧誘形（勧め）の尊敬表現を、3）は日本語の「～だ」に当たる「이다」に接続して「～でいらっしゃいます（あるいは、～でございます）」という意味を表す[7)]。

2）の勧めの文は日本語の「～てください」、「お～ください」の両方に訳されるが、厳密にいうと、「お～ください」がより充実した訳になる。「お～ください」は「～てください」の尊敬語として考えられがちだが、新屋・姫野・守屋（1998）によると、「お～ください」は「勧め」と「指示」の意味用法が中心であり、「依頼」には使えないという[8)]。このことは、韓国語の「－세요（seyo）」の用法とほぼ一致する。上の1）～3）の日本語訳から見られるように韓国語の「－세요（seyo）」は動詞に後続し、丁寧な命令・指示の機能を持ち、

また、状況によっては目上の人や丁寧さを保つべき相手に対する勧誘表現としても使われる。

例えば、次の文から検討しよう。

4）よかったら、このパンをお召し上がりください。（勧め）
5）手すりにおつかまりください。（丁寧な命令的指示）

この4）、5）の文を韓国語にすると、

4)'괜찮으시다면 이 빵을 드세요.
5)'손잡이를 잡으세요.

どちらも「－세요（seyo）」体が最も相応しい日本語訳になる。なお、「お～くださいませ」のような言い方や「～くださいまうようにお願い申し上げます」のような、より丁寧な表現にするなら、4)' と5)' の語尾を「－십시오」[9] に置き換えれば、より一層日本語の表現に近接する。

引き続き、「～てください」表現の日・韓両言語の対応関係をみてみよう。

6. 「～てください」の日・韓表現の対照

「～てください」の日・韓対照研究としては、金昌男（1999）、金鍾我（2005）牟恩英（2002）が代表的に挙げられる。特に、金鍾我（2005）は日本語の「～てください」の意味用法を以下のようにまとめている[10]。

表２　引用：「てくださいにおける日韓の対照」金 2005

	日本語	韓国語
依頼の意味用法	てください	「－아, 어, 해＋주세요（juseyo）」
勧めの意味用法	てください	「－세요（seyo）」
		「－아, 어, 해＋요（yo）」
命令の意味用法	てください	「－세요（seyo）」
		「－아, 어, 해＋요（yo）」、「－십시오」

金（2005）が言う命令や要求の意味用法は姫野（1997）の「指示」に該当するものであろう。研究者によっては各意味用法の名付けに若干の違いが見られる。例えば、話し手と聞き手の受益の視点から発話行為を４つに分けた姫野（1997）の分類を、森田（1985）は「依頼」と「許容」に大きく二つに分類し、前田（1990）は「依頼」、「命令・指示」、「懇

願」、「許可・勧め」とより細かく分類する。さらに、柏崎（1993）は「勧め」の意味用法に「激励」[11] の用法を加えている。

金（2005）では、話し手と聞き手の受益関係は反映せず、両表現を捉えている。そして、表 2 の日本語も韓国語もすべて丁寧さが加わった形式のみだが、日本語の「～てくれ」、「～てちょうだい」に当たる表現も韓国語に存在する[12]。

次は、金（2005）の調査内容を参考にしながら、姫野（1997）の分類を取り入れ、さらなる検討を試みる。

まず、日本語の「～てください」が使用された文章を韓国語に訳した場合、果たしてどの程度日本語の意味用法と一致するのか、そして、話し手と聞き手の受益という観点も視野に入れて検証したい。

7. 実例のデータと調査

2016 年 8 月 20 日にインターネット上の検索を実施した。日本の Yahoo サイトを検索し、見出しとスニペット[13] に表れた「～てください」の用例を集めてみた。すると、ネットというメディアの状況からかなり膨大な量のデータが出現したため、今回の調査では検索画像に表れた最初の 1 ページから 10 ページまで出現した分量のみを調査の対象とした。

データに表れた各意味用法の使用回数は、次の通りである。

表 3 「～てください」の用法分類

命令・指示	依頼	勧め	合計
35（21%）	74（46%）	53（33%）	162（100%）

最も用法が多かったのは約 5 割を占める依頼用法だった。しかし、これらの中には意味用法が明確ではない曖昧な次のような文例が見られた。

（1）舛添都知事、せめてリオ五輪は欠席してください。（依頼・勧め）

（1）は行為発動の決定者は話し手（投稿者）ではなく聞き手（都知事）である。おそらく都民と思われる発話者が舛添さんにリオに行かないように「依頼」していると捉えることができるが、行かないことを勧めているとも考えられる。話し手と聞き手の受益関係の視点から見た場合、前者なら利益は都民側にあるが、後者なら舛添さんにあると考えられる。また、この要求表現は、話し手に強制力がほぼないことと、聞き手側の決定権が強いことから指示用法として判断するにはやや抵抗がある。

（2）川内原発を止めてください。（依頼・指示）

（２）は、発話者である九州の人々のために原発の稼働を止めてもらいたいという依頼の意味として捉えることができるが、稼働しないように要求しているとも捉えられる。原発を止めることにより、聞き手に受益が発生するとは言いにくいため、勧めと捉えることは難しいだろう。（２）は、話し手の強制力は弱いが、発話通りに実行された場合、発話者に受益が向かうことから指示用法も兼ねていると判断できよう。

8. 「～てください」の韓国語訳と対応関係

次は、これらのデータを韓国語に訳した場合、どのような言語形式が用いられるのかを見た。結果を次の表４にまとめる。

表４ 「～てください」の韓国語訳（計 162 個）

	命令・指示	依頼	勧め	合計
「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」	0	70	6	75
「－세요（seyo）」	0	0	4	5
どちらも翻訳可能	35	4	43	82
合計	35	74	53	162

まず、表４の命令・指示用法を見ると、「－세요（seyo）」と「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」の両方に翻訳が可能なものが多く、「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」のみが許容される文はないと判断される。例えば、以下の日本語と韓国語の訳を見てみよう。

「位置情報サービスを ON にしてください。」
（３）　위치 정 보서비스를 ON 으로 하세요
（３）’ 위치정보 서비스를 ON 으로 해 주세요

「暗証番号を入力してください。」
（４）　비밀번호를 입 력 하세요
（４）’ 비밀번호를 입력해 주세요

「何も見ないで自転車を描いてください。」
（５）　아무것도 보지　말고 자 전 거를 그리세요
（５）’ 아무것도 보지 말고 자전거를 그려 주세요

（３）（４）（５）は、語尾に「－세요（seyo）」が接続した指示用法の文だが、（３）’（４）’（５）’のように「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」に置き換えても日本語のその意味が損なわれることなく用いられる。これらの発話文は、指示することによって発生する利益が話し

手側に一切生じない命令文にもかかわらず、「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」の使用が可能である。このことは、「入力してください」が「ご入力ください」、「描いてください」が「お描きください」に代わり、より丁寧な指示表現を表せることと似ているように思われる。韓国語の丁寧な命令形「－세요（seyo）」に代わり、依頼表現「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」が用いられても構わなく、むしろ丁寧さが増す効果が得られると考えられる。

次に、依頼用法を見ると、ほとんどの場合で「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」が相応しく、「－세요（seyo）」に代わることのできる発話は数少なかった。両方に訳せるものは 4 つあったが、これは前述の（1）（2）のような使用例であり、発話が行われる状況から依頼の他に指示、勧め、どちらとも意味が取れる文が該当する。例えば、

（6）名古屋大学の卒業生など電子名簿へ登録してください

（6）の発話は、名簿に登録を願う大学側の依頼と捉えることもできるが、在籍していた者に勧誘する勧めの用法に解釈することもできる。このように用法が重複する用例を除けば、ほとんどの依頼の「～てください」は韓国語の「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」と訳される。

最後に、勧めの翻訳例を見てみよう。

「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」のみに翻訳されるものが 6 件、「－세요（seyo）」のみに翻訳されるものが 4 件、どちらにも翻訳可能な文が 43 件あった。

まず、勧めの用法でありながら「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」のみ翻訳可能なものはすべて「知ってください」が使用された次のような例である。

（7）知ってください。下肢静脈瘤のこと（勧め）→　알아 주세요 하지정맥류
（8）保育園を知ってください。（勧め）→　보육원을 알아 주세요

（7）（8）は、特定の人物を対象とするのではなく、一般の人を対象にしてある行為（注意、警戒）をするように勧める用法である。依頼と違い、行為の決定権者である一般の人に受益があり、話し手には何の利害関係もない典型的な勧めの表現だが、韓国語では「－세요（seyo）」より「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」に訳される。実際、上の「知ってください」のような使い方を韓国のネットで調べた結果、「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」が勧めの意味用法として使用されていると判った。「－세요（seyo）」が後続すると、「知っていますか。」という単純な疑問形として使用されている例が遥かに多かった。

韓国語母語話者として「知ってください」という使い方にやや違和感を感じるが、非文には至らないようである。まず、「知る」という動詞に「－세요（seyo）」が接続しにくい理由として考えられるのは、韓国語の場合、動作動詞と違って形容詞に近い性質を持った状態動詞（知る、理解する、信じる、好む、愛するなど。）は「－세요（seyo）」が後続すると、勧めの意味が薄れて行為の動詞主への尊敬の意味が強調されることが挙げられる。

次の例で説明しよう。

（9）（괜찮으시다면）기억하세요（×）→（よかったら）覚えてください。（？）
（10）（괜찮으시다면）아세요　（×）→（よかったら）知ってください。（？）
（11）（괜찮으시다면）믿으세요　（×）→（よかったら）信じてください。（？）

これら（9）～（10）のように「知る」のような類の状態動詞は、勧め用法としては非文と判定することになりかねない。「－세요（seyo）」は、5.1. に挙げたように動詞の他、形容詞、名詞にも接続し、その文の主語を高めながら事柄を述べたり、丁寧な命令、要請表現を表す。そのため、話し手に受益が起こる依頼用法には相応しくないのである。

日本の広告文やネット上でよく使用される「知ってください」は、「（関係がある方は）知っておいてください」を強調した特殊な使い方ではないだろうか。では、その他の勧め用法をみてみよう。

（12）お好きなようにしてください。
（13）ご自由にしてください。
（14）頑張ってください。
（15）のぞいて見てください。「滝川」で久慈川をのぼってきた鮎が見られますよ。
（16）iphone を賢くしてください。
（17）ハチに注意してください。

上の（12）から（17）までの用例は、53 件表れた勧め用法の「～てください」である。これらを韓国語に翻訳すると、（12）～（15）までの文は韓国語の「－세요（seyo）」に訳すのが最も適合する。

一方、（16）と（17）は「－세요（seyo）」と「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」両方に翻訳が可能である。（16）は興味がある人は、この機能を使って iphone をさらに有効に使ってくださいという勧めの文だが、韓国語にすると「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」の使用が可能である。また、（17）も注意、喚起を表す勧めの用法だが、「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」を用いることができる。今回の調査から（17）のような用例はすべて韓国語に訳すと「－세요（seyo）」と「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」が可能になり、実際このような韓国語の文を調べた結果、自由に置き換えられていることが分かった。

以上、インターネット上で使用されている日本語の「～ください」の意味用法に対応した韓国語の訳をまとめると、表 5 の通りである。

表 5 「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」と「－세요（seyo）」の用法

	命令・指示	依頼	勧め
「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」	○	○	○
「－세요（seyo）」	○	×	○

※「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」は、「－주십시오」に、「세요（seyo）」は、「－십시오」に置き換えると意味用法が変わることなく、より丁寧な尊敬の依頼表現になる。

9. まとめ

新屋映子・姫野伴子・守屋三千代（1998）では、発話による行為の決定権と利益関係がだれにあるのかで決まる機能（「指示」「依頼」「勧め」）が、種々の表現形式と一定の関係を持つという。それぞれの形式が担う機能を次のようにまとめている。

表６　新屋映子・姫野伴子・守屋三千代（1998）

	命令・指示	依頼	勧め
てください	○	○	○
お～ください	○	×	○
てくださいませんか	×	○	×

※表６の「てくださいませんか」は今回の調査対象に含まない。

表６に見られるように「お～ください」は指示、勧めが中心で依頼には使いにくいようである。新屋映子・姫野伴子・守屋三千代（1998）では、分かりやすい用例として「先生、推薦状をお書きください。」は依頼として成立せず、不適切であることを挙げている。これは、韓国語でも「－세요（seyo）」が使われると、依頼ではなく書くように丁寧に指示しているような文になってしまうことと同じだ。

また、前に記述した表５と上の表６を比較すると、その結果が似ていることが分かる。姫野（1997）の分類に従って、調査分析をしたが、韓国語の依頼表現もこの分類から大きいズレは生じない。また、日本語の「～てください」は「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」と対応し、「お～ください」は「세요（seyo）」とその機能が対応すると推理することもできよう。

日本人の韓国語学習者が「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」と「－세요（seyo）」の選択に迷うならば、利益が話し手にある依頼用法は必ず「－아 , 어 , 해＋주세요（juseyo）」を使用することに注意を払うべきであろう。その反面、指示、勧め用法はどちらを用いても発話として成立するが、前に述べたように利益が明らかに聞き手にある「激励」（頑張ってください）「許可」（お好きにしてください／自由にお持ちくださいなど。）のような用法は「－세요（seyo）」を使用することが望ましい。

今まで「～てください」に関する日・韓の対照研究は、小説の文を対象にしたものがほとんどであり、翻訳者の韓国語訳に委ねた調査が一般的だった。本稿の調査はネット上のデータを利用することにより、より多くの一般人の言語使用の状況が観察できた。表２の金（2005）のまとめと今回の研究結果に少し違いはあるが、ことばの使用は時代と共に変化し、それらの言語が話される場面、ジャンルなどによっても変化が現れる。行為要求表現は他にも否定の問いかけ文「てくれませんか」、勧誘形式の「～しましょう」のようなものが存在する[14)]。

今回の調査を韓国語教育に生かしつつ、これからも日本語と韓国語の「ください」、「주세요（juseyo）」の観察を続けたい。

註

1）　姫野（1997）は発話内行為の機能を Leech（1983）の定義から引用しており、「競合型」は行為のゴールが社会的目標と競合するものを示し、「懇親型」は行為のゴールが社会的目標と一致するものを意味する。

2）　高梨信乃（2011）「行為要求について」神戸大学紀要 17 巻から引用した。

3）　例えば、韓国の服屋さんで服を買うと店員によく「예쁘게 입으세요（seyo）」とお礼を言われるが、日本語に訳すと「綺麗にお召しになってください」のような文になる。この場合は「입으세요」が正しく、「입어 주세요（juseyo）」だと、店員のために綺麗に着こなしてほしいというニュアンスになり、恩着せがましい発話になってしまい、失礼な感じがする。

4）　日本語で「右に曲がってください」（タクシーの運転手さんに向かって）は韓国語では「오른쪽으로 가 주세요（juseyo）」が自然な言い方であり、「오른쪽으로 가세요（seyo）」というとややきつい表現になってしまう。私の利益につながる願望であれば、「주세요（juseyo）」が用いられるのが一般的である。一方、「元気で過ごしてください」、「幸せになってください」のように明らかに聞き手の利益につながる願望であれば、「세요（seyo）」が使われる。

5）　国立国語院出版の「外国人のための文法 2」の引用。

6）「－세요（seyo）」体も「－요（yo）」体も疑問形には「？」のマークが標として付く。

7）「外国人のための文法 2」からの用例である。

8）　先生に「推薦状を書いてください」という発話を、より丁寧な形式だと思い、「先生、推薦状をお書きください」と言ってしまうと、失礼な言い方になってしまうことを例に挙げ、分かりやすく述べている。

9）「－십시오」に日本語の「お～くださいませ」が持つ女性語としての役割はない。「－십시오」体は、書きことばや公式な公の場などに主に使われ、形式ばった表現である。

10）　金（2005）は、日本の小説とそれの韓国語翻訳版を比較調査し、どのように対応して表現されているのかを調べている。表 2 はその結果をまとめた金（2005）「～てくださいの表現における日・韓の対照」から引用した。

11）　代表的なものとして「頑張ってください」のような例文が挙げられる。

12）　日本語には、タメ口、普通体の丁寧形（です・ます体）、尊敬の機能が付加された「お～になります」、謙遜な表現である「お～します」があるが、現在の韓国語の話ことばでは、丁寧形の「－요」体の形式から、「－요」を取ることによってタメ口になる。しかし、「－세요（seyo）」体は、－시（shi）＋어요（oyo）が→셔요（shoyo）になり→ さらに発音が세요（seyo）に変化したものであり、「－세요（seyo）」を除去してもタメ口にはならない。現在語では셔요（shoyo）も세요（seyo）も尊敬語の標準語として使用されている。最近は세요（seyo）の使用度がはるかに高い。

13）　スニペットとは、検索エンジンで検索をした際に、検索結果のページタイトルの下に表示される検索言葉（キーワード）を含んだ説明文のことをいう。

14）　牟（2001）は、勧誘形式の依頼文が韓国語では一般的であることを記述している。日本語では、不特定多数向けの発話に表れる、例えば「駆け込み乗車は危険ですのでやめましょう」はまさにその一例である。しかし、韓国語ではタクシーの運転手さんに降ろしてもらいたい時「ちょっとあそこで降ろしましょう。」のような文体が用いられる。話し手が聞き手に行動を共にするように要求しているかのように見える発話だが、依頼の意味で使われる。

参考文献

1．金鍾我（2005）「「～てください」の表現における日・韓の対照」 国文学踏査　榊泰純先生・倉持保男先生頌寿記念号 pp.81–175　大正大学国文学科出版

2．金鍾我（2007）「依頼表現の日・韓両語対照」 国文学踏査 19 号　大正大学国文学会発行

3．金昌男（2001）「日本語の「～てください」とそれに対応する韓国語について」 ユーラシア諸言語の動詞論 . 1（平成 11 年度―平成 12 年度）千葉大学社会文化科学研究所プロジェクト報告書 pp.27–42

4．新屋映子・姫野伴子・守屋三千代（1998）「教科書の落とし穴 4 「～てください」うれしいのはだれ？」 月刊日本語 11 巻 7 号 pp.56–59　アルク出版

5．趙彦志（2009）「依頼表現をあらわす「～てください」形の諸特徴」 東アジア日本語教育・日本文化研究 12 巻 pp.287–300　東アジア日本語教育・日本文化研究会発行

6．高梨信乃（2011）「行為表現に 4 ついて―日本語教育における問題―」 神戸大学留学生センター紀要 17 号 pp.1–17

7．姫野伴子（1997）「行為指示型発話行為の機能と形式」 埼玉大学紀要 33 巻 1 号

8．曲志強・林伸一（2000）「日本語における励まし表現に関する考察」 山口国文 23 号　山口大学人文学部国語国文学会発行

9．牟恩英（2001）「日韓の依頼表現」国文学試論 15 号 pp.1–8　大正大学外学院文学研究科

10. 由木美帆（2003）「「～てください」と「お～ください」に関する一考察」 岡山大学言語学論叢 10 巻 pp.85–96　岡山大学言語学研究会編集　岡山大学文学部発行

11. 由木美帆（2004）「行為要求表現「～てください」に関する一考察―日本語教科書における記述を踏まえて―」 岡山大学言語学論叢 11 号 pp.53–65　岡山大学言語学研究会編集　岡山大学発行

12. 吉井健（2000）「「～してください」の用法―命令･依頼･勧めの関係―」 神戸松蔭女子大学「文林」 紀要論文 pp.13–26

13. 国立国語院（2005）『外国人のための韓国語文法 1 体系編』コミュニケーションブックス出版

14. 国立国語院（2005）『外国人のための韓国語文法 2 用法編』コミュニケーションブックス出版